

## ◆医師の異動（11月）

医師の異動はありません

## ◆地域医療従事者研修のご案内

### ■循環器学習会

#### 第1回

日時：平成29年11月21日（火）17:30～19:00  
テーマ：みんなで診よう！循環器疾患！一心リハって何？ー

会場：市立長浜病院 講堂  
講師：市立長浜病院 循環器内科医師

#### 第2回

日時：平成29年12月25日（月）17:30～19:00  
テーマ：みんなで知ろう！循環器疾患！一体に合った運動負荷と栄養ー

児玉 浩志  
肥後 洋祐  
小林 勇介 他

#### 第3回

日時：平成30年 1月16日（火）17:30～19:00  
テーマ：みんなで繋がる！循環器疾患！ーチームで考える医療ー

定員：各回80名、参加費：無料  
申込締切：【第1回】11月7日（火）  
【第2回】12月11日（月）  
【第3回】1月9日（火）  
申込先：看護局教育支援室  
電話 0749-68-2300（代表）

### ■平成29年度放射線安全研修会

日時：平成29年11月28日（火）17:30～18:45  
会場：市立長浜病院 講堂  
演題：放射線科における検査の注意点  
放射線治療における副作用について  
体験実習：金属の物体を用いて吸引・吸着の体験実習  
（MRI検査室にて）  
申し込みは不要です。ご参加お待ちしております。

### ■第7回化学療法研修会

日時：平成29年12月7日（木）17:30～19:00  
会場：市立長浜病院 講堂  
テーマ：（仮）感染と化学療法について  
講師：公益社団法人がん研究会有明病院  
感染症科部長 原田 壮平先生  
問合せ先：がん対策推進室 電話 0749-68-2300（代表）

## ◆がん患者会等が主催されるイベント

### ■セルフケアグループ きらら会 グリーンケア講座

「大切な人を亡くす悲嘆に向き合う」をテーマに、講座と分かち合いの時間を予定されています。

日時：平成29年11月9日（木）12:40～16:00  
会場：市立長浜病院 講堂

### ■心のケアを考える会・例会

患者さんやそのご家族と医療関係者が、互いの思いを語り合うお茶会です。初めての方もぜひご参加ください。

日時：平成29年12月10日（日）11:00～14:00  
会場：六荘公民館（六角館）

## ◆地域医療連携室よりお願い

最近、当院に不審電話が多くかかってきております。地域医療連携室にお電話をいただいた際に、詳細に確認させていただく場合があります。紹介元の先生方にはご理解とご協力をお願いいたします。



## ◀◀◀ 編集後記 ▶▶▶

秋が深まってきました。紅葉散策が楽しみな反面急激な気温の変化に追いつけず戸惑っています。救急搬送される患者さんの症状を見ても季節の変化を痛感しています。



Pink-Bu

救急告示病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
厚生労働省臨床研修指定病院  
周産期協力病院

# 市立長浜病院 地域医療連携だより

## 理念

地域住民の健康を守るため、「人中心の医療」を  
発展させ、地域完結型の医療を進めます。

平成29年11月1日号 No. 155

市立長浜病院ホームページ

<http://www.nagahama-hp.jp/>

市立長浜病院 検索

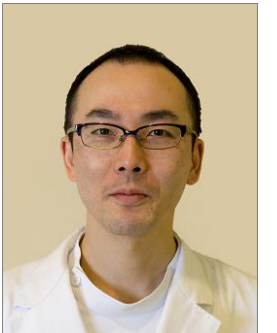


市立長浜病院患者総合支援センター 地域医療連携室  
〒526-8580 長浜市大成亥町 313 番地  
TEL:0749-65-2720 FAX:0749-65-2730

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当院病院事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。11月の外来診察担当医師表を別添資料でお届けいたしますので、ご査収ください。 敬白

## ◆RST(呼吸器ケアサポートチーム)の取り組みについて

呼吸器内科医長 中川 雅登



近年では患者さんの高齢化に伴って、人工呼吸器の離脱困難症例や、離脱後も長期にわたって専門的な呼吸ケアが必要な症例が増えています。

当院では医師、看護師、臨床工学技士、理学療法士で呼吸ケアサポートチーム（Respiratory Support Team: RST）を構成しています。

RSTは質の高い呼吸ケアを提供することを目的とする専門チームです。人工呼吸器を装着した患者さんが、人工呼吸器から早期離脱できるようにサポートします。また、人工呼吸器のみならず、酸素療法が必要な患者さん全般に対して、専門的な見地からケアを支援しています。

RSTは上記のような症例を対象に週1回の回診を行っております。加えて人工呼吸器装着中の症例に関しては、随時離脱のトライアルをサポートしております。

活動を開始したのは2013年でまだまだ道半ばではありますが、少しずつ院内での実績を積み上げつつあります。近年では多職種共同でチーム診療を行うことが一般的となり、各病院で同様の取り組みがなされています。当院のRSTは上記のような取り組みに加えて、さらに現場のニーズに従ったサービスを提供したいと考えております。



地域医療に携わっておられる医療関係者の方々におかれましては、今回の地域医療連携だよりをきっかけにご意見やご指導をいただくと幸いです。

現在考えている今後の取り組みとして、在宅で酸素療法や非侵襲的陽圧換気などの呼吸ケアを必要としている方の訪問診療や、長期で在宅療養中の方の呼吸器の設定変更のためのレスパイト入院の受け入れを検討しています。

地域の先生方で、人工呼吸器装着中や、在宅酸素療法でお困りの症例がありましたら、地域医療連携室に是非お問い合わせください。

## ◆RST(呼吸ケアサポートチーム)取り組み紹介

### 総合的な呼吸ケア

臨床工学技士 草野 信悟

当院、呼吸ケアサポートチーム(以下、RST)が発足した当時は、人工呼吸器挿管患者の介入のみでした。しかし、医師や看護師から「抜管後も介入して呼吸ケアして欲しい」「抜管困難患者への抜管をして欲しい」「気管切開孔が閉鎖できるか評価して欲しい」など様々な要望に答えています。RSTの強みは様々な職種の人が携わっているため、患者さんを多角的に診ることが出来ます。そのため、偏った考えにならず各々の専門分野から意見を取り入れ、尚且つ、最新治療を提供できます。日進月歩の医療機器は普段なかなか目にすることがない医療機器などを積極的に取り入れて患者さんの状態にあった治療を行っております。

そして、年に一度RST主催で呼吸関連機器の展示会および体験研修を行っており好評を得ております。最新医療機器を見て、触れて、体験していただき、反響が大きかった機械を導入した事例もあります。

湖北医療圏域で唯一の呼吸専門チームであることに責任をもって今後も「人中心の医療」を発展させ、地域完結型の医療を進めます。



### 看護師の役割

慢性呼吸器疾患看護認定看護師 山口 清香

呼吸ケアチームの活動は、2010年から「呼吸ケアチーム加算」として診療報酬が算定できるようになりました。具体的な活動内容は呼吸ケアチーム回診で、人工呼吸器を装着した患者が適切な人工呼吸器設定となっているかの確認や、安全管理が守られているかどうか、人工呼吸器関連の合併症予防が適切に行われているかの確認などを行い、その確認したことを臨床に現場に提案や提言として還元し、より適切な人工呼吸器管理をサポートすることです。加算対象は侵襲的な人工呼吸器を使用された方ですが、それだけではなく非侵襲的人工呼吸器や高流量の酸素療法を受けられている方など、呼吸ケアを必要とする方を対象としています。また気管切開をされた方の管理から離脱など病棟スタッフと共同してケアを考えていきます。特に看護師として在宅や次の療養先を視野に入れた、退院後の生活を考慮したケア提供ができるように日々学び、励んでいます。訪問看護の際に同行訪問も行っています。また、日常の些細な困りごとにも対応しています。呼吸ケアに興味のある方、一緒に頑張りますか?ご連絡をお待ちしています。



### 理学療法士の役割

認定理学療法士 清水 悠

現在、RSTには3学会合同呼吸療法認定士を取得した理学療法士(以下、PT)2名が在籍しています。RST活動においてPTは、「人工呼吸器装着患者の人工呼吸器管理、呼吸器リハビリテーションなどをチーム医療として行い、また主治医と連携を取りつつ、人工呼吸器の適正かつ安全な使用だけでなく、人工呼吸器装着期間および入院期間の短縮、予後の改善、合併症の予防を目指す。」を前提として、日々業務にあたっています。

PTの役割は、人工呼吸器装着に関連する合併症や廃用症候群の予防、呼吸機能や呼吸筋の評価を行い、早期に人工呼吸器から離脱できるよう、患者個々の必要性に応じて、呼吸リハビリテーションを提供しています。また、病棟で可能な体位管理や、離床、関節可動域練習などを検討し、切れ目のない呼吸リハビリテーションを看護師と協働し実施しています。当院では、PTがRST活動に積極的に参加することで、その専門性を発揮しつつ多職種と連携を図り、呼吸療法に携わるチーム医療の質の向上に努めています。



## ◆リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017滋賀医科大学

開催日時 10月8日(日)12時から10月9日(月)12時まで

リレー・フォー・ライフとは、がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合いがん征圧をめざすチャリティーイベントです。がん患者さんやご家族、そして支援者がグラウンドなどを交代で24時間歩き続け、痛みを分かち合い、勇気と希望を与えます。

当院は、地域がん診療連携拠点病院として、神田院長をはじめ総勢16名の職員と2名の職員家族がブルーのユニフォームを着用し参加しました。当日は晴天に恵まれ、爽やかな秋晴れのもとリレー・



ウォークとなりました。また、同事業は寄付や協賛金で運営されており、院内各部署において、募金及びルミナリエバックの購入にも協力しました。



## ◆ピンクリボン長浜2017が開催されました

10月15日に豊公園一帯でピンクリボン長浜の啓発イベントが開催されました。この事業は一般市民のボランティアを中心に運営されており、今年度で6回目を迎えます。協力者として当院の東出医師をはじめ、行政関係者、長浜赤十字病院等も参画し、毎年乳がん予防について、広く市民の方へ周知を行っています。今年度はあいにくの雨となりましたが、夕刻より長浜城はきれいなピンクリボンのカラーに染まり、交流会では、関係者の方との懇談や東出医師によるミニ講義をつうじて、改めて乳がんに関する啓発活動の重要性を認識しました。



長浜城ライトアップ

## ◆ダブルID(カルテの重複)予防・患者誤認の予防にご協力をお願いします

先日、患者氏名と生年月日が見にくいことがあり、ダブルIDとなった事例が発生しました。紹介元医療機関よりFAXをいただき、患者IDの確認を行っております。

次の5点を元に患者確認を行い、確認しダブルID(カルテの重複)を防いでいます。

- 確認内容
- ・氏名
  - ・生年月日
  - ・性別
  - ・住所
  - ・連絡先

当院としてはおかしいと感じた際には確認をさせていただきたいと思っております。

お忙しいところ恐縮ですが、リスク回避のためご協力をお願いします。



### 紹介患者登録間違い事象の紹介

紹介元医療機関から診療依頼書がFAXで届く

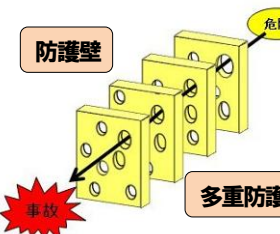
龍: ふりかな: リョウ(正) ⇒ リョウ(誤)  
生年月日: ○月 29日 24日(正) ⇒ 29日(誤)

見間違いやすい文字

患者登録 ○○○リョウと○年○月29日(誤)で入力

新患登録 ○月24日であれば、再診患者であった  
ダブルID!!

### スイスチーズモデル



ミスが防げず防護壁が貫通すると事故が発生する。より早く気づき、未然・最小リスクに止める。